

平成 29 年 10 月 11 日

各位

三井住友信託銀行株式会社

LGBT への取組評価「PRIDE 指標」において、最高評価「ゴールド」を受賞

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:橋本勝、以下「三井住友信託銀行」)は、平成 29 年 10 月 11 日、LGBT に関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する任意団体 wwP (work with Pride)による、LGBT などの性的マイノリティに関する取り組みの評価「PRIDE 指標」において、最高評価の「ゴールド」を受賞しましたのでお知らせします。

「PRIDE 指標」は、各企業・団体等の、Policy(行動宣言)、Representation(当事者コミュニティ)、Inspiration(啓発活動)、Development(人事制度・プログラム)、Engagement/Empowerment(社会貢献・渉外活動)について採点し、総合結果を「ゴールド」、「シルバー」、「ブロンズ」の三段階で評価するもので、2016 年に策定された日本で初めての LGBT 施策評価指標です。第二回目となる 2017 年度の選考で、当社の取組姿勢に対し、5 つの項目全てにおいて評価を得ました。

三井住友信託銀行が属する三井住友トラスト・グループでは、「個々人の多様性と創造性を経営に活かす」というダイバーシティ&インクルージョンの概念そのものを、ミッション(経営理念)として有しています。また、2016年11月には、性的指向・性自認を理由とした差別や人権侵害を行わないことをグループの人権方針に加え、組織のポリシーとして明示しました。この方針をうけ、三井住友信託銀行では、2016年10月に設置されたD&I推進室の重点活動項目にLGBT支援を掲げ、LGBT相談窓口の設置や、全社員を対象としたeラーニングで理解促進を図るなどしました。

三井住友信託銀行は、「個々人の多様性と創造性が、組織の付加価値として存分に活かされ、働くことに夢と誇りとやりがいを持てる職場の提供」という三井住友トラスト・グループの[「働き方改革宣言」](#)の実現を目指し、引き続き多様な社員が活躍できる環境整備や意識改革に努めていきます。



以上